

書道部のページ ～さあ墨の世界へ

北海道帯広南商業高等学校

書道部 HP 通信

こんにちは。帯南商書道部です。3年生が卒業し、現在2年生3名・1年生5名で活動しています。私たちの活動の一部をご紹介します。

《新入生をパフォーマンスで歓迎 ～「Welcome to NANSHO」(4/11)にて》

4月11日に行われました「Welcome to Nansho」。これは、新入生を上級生が歓迎し、南商がどんな学校であるかを紹介する行事です。その中で32ある部活動が自分たちの活動を紹介する時間があります。私たち書道部は書道パフォーマンスを行うのが恒例です。今回は嵐の曲をBGMにして元気いっぱいパフォーマンスしました。観衆の2、3年生が後ろから声援を送ってくれ、全校一体となって盛り上げてくれました。



《各校の新入生が集合 ～「書道入門講座」(6/23)にて》

高文連十勝支部では、毎年6月に「書道入門講座」と銘打ち、各学校の新入部員が集い合同練習会を行います。本校の格技場を会場とし、今回で21回目を数え、総勢64名が参加しました。前半は普段の練習の中心である「臨書」を、後半は創作の作品制作を行いました。対外試合などがある部とは違い、私たちはなかなか他者を意識する機会が多くありません。この入門講座では他校の人たちと一緒に書いたり、他校の先生に指導してもらい大いに刺激を受けた1日となりました。



《地域の方々にパフォーマンス披露① ～「南商祭」(7/15)にて》

南商祭は「地域の方々が楽しんでもらい、本校のことを知ってもらえる学校祭に」をコンセプトに工夫が凝らされました。書道部も普段の活動で制作した作品展示に加え、体育館にて1・2年生で書道パフォーマンスを行いました。1年生にとっては人前で初めて書く姿を披露する機会でした。一方、例年もそうですが3年生は参加しません。この時期あたりから、秋の引退に備え、少しずつ役割を後輩たちへ移行していくというのが、書道部の流れです。当日は、多くの方々に観覧していただき、なおかつ多くの拍手や声援をいただきました。楽しいひと時でした。



《地域の方々の前でパフォーマンス披露② ～とちちプラザ「フラザまつり」(9/7)にて》

9月7日にとちちプラザで行われた「プラザまつり」にて、管内の7校の高校書道部と合同チーム「チーム十勝」を結成し、パフォーマンスを披露しました。今回のテーマを「空」とし、それぞれの学校が2あるいは3校1チームとなり、選曲したものに合わせパフォーマンスしました。それぞれの学校の個性を出しながらも合同で行う「合作」の要素を取り入れたパフォーマンスは、とても楽しかったです。私たちは緑陽高校と清水高校とチームを組み、Official 髭男dismの「始まりの朝」に合わせてパフォーマンスしました。書道パフォーマンス自体は、ここ10年ほどでみなさんに知られるようになり、各学校単独で様々なイベントにて積極的に行われています。ただ、このように他校と合同という形式のものはこのイベントしかありません。今回で8回目を数えましたが、早速「来年もぜひ」と、とちちプラザ側から言っていていただいています。十勝の各学校の書道部が、頑張っているということを地域の人に知っていただける機会になったのではないのでしょうか。



《地域の方々にパフォーマンス披露③ ~オカモトフェス(9/15)にて》

昨年に続いて2回目の出演でした。内容としては、元気にやり遂げ、先方の方から「また来年もお願いします。」と言っていただきました。毎年恒例のものの1つに今後なるかもしれません。



《地域の方々にパフォーマンス披露④ ~Pink Ribbon in おびひろ 団結式(10/1)にて》

10月1日に帯広市保健福祉センター内で行われたPink Ribbon in おびひろ 団結式にてパフォーマンス披露してきました。今回、団結式自体が初めて行われる機会の中で、市の健康福祉課から「ぜひ、お願いしたい」とお話がありました。乳がん経験者の方の詞を書かさせていただくということから、乳がん検診やピンクリボン運動について簡単ではありますが、知った上で練習をしました。内容としてどのように理解し、表現していいか迷う事もあったのですが、心を込めて、南商書道部らしく明るく元気にパフォーマンスすることにしました。団結式に参加された各団体の方から「感動した」との声をいただき、ご期待にこたえられたと安堵感と充実感で帰ってきました。



《第53回北海道高文連書道展・研究大会結果報告(10/9~11)》

～「北海道高等学校文化連盟賞」中波明日香さん 受賞!!

「優秀賞」福田翔子さん 受賞!!

中波さん、全国総合文化祭への出品が推薦される!!(本校から2年ぶり)

第53回北海道高文連書道展・研究大会が10月9日～11日に旭川市・大雪アリーナにて行われました。現在全道には約1,800名の書道部員がいると言われています。その中で各地から選ばれた850点の作品が並んだ展覧会場はレベルが大変高く、圧倒されました。様々な作品を見ることや多くの全道各地の先生から助言をいただき、大いに刺激を受けることができ、今後の活動に繋げていきたいと思えます。なお、高文連賞に2年中波さん、優秀賞に3年福田さんの2名が表彰されました。また、中波さんは「高文連のインターハイ」と呼ばれる、今夏の全国総合文化祭への出品が推薦されました。本校書道部からは2年ぶりの快挙です。



《来年の全道大会を見据えて ～創作技術講習会(11/4)にて》

書道部員が大きな目標としている高文連全道大会。令和2年度は十勝・帯広市で行われます。その大会運営する当番校を本校が担当します。十勝での全道大会は、5回目となりますが、初めて本校が当番校を務めることとなります。旭川大会が終わった直後ではありましたが、次回の大会の「プレ」を兼ねて、創作技術講習会が帯広市立啓北小学校の体育館をお借りして行われました。管内の書道部員74名が集まり、帯広で行う内容に沿って作品制作しました。これまでの大会とは違い、自分たちが全道からの参加者をリードしながら、大会を作っていかなければならないということを再認識できました。



《地域の方々にパフォーマンス披露⑤ ～書き初めパフォーマンス書の展(1/2)にて》

藤丸デパートで1/2～4に行われた「書初めパフォーマンス書の展2020」。管内の高校書道部10校が3日間に分かれてパフォーマンスを披露しました。このような形で行われるのは、9年目となりすっかりお正月恒例となりました。本書道部は1日目の1/2にこのイベント自体のトップバッターとして出演し、多くの観衆の前で思いっきり筆を走らせることができました。どの学校も外部パフォーマンス披露の経験を積み重ねており、工夫の見られる内容でした。書き上げた作品は、別ホールで展示され、作品でもそれぞれの個性が出ていました



《小学生書初め教室開催！(1/5)》

部員のコミュニケーション能力向上を目的とし行っています。今年で9年目になります。同校に近い森の里、開西、つつじが丘各小学校を中心に2～6年生24人が参加し、学年ごとに「お正月」や「新春の朝」などの文字を書きました。筆を持った当初は緊張気味だった参加した子どもたちでしたが、部員たちが一人ひとりに「元気に文字は大きく」「上手だね」「とめやはねをしっかりと」などと声をかけ、墨で手を真っ黒にしながら一生懸命に作品を仕上げました。

参加した小学生からは、「大きな筆で大きな紙に書けて楽しかった」「高校生のお姉さんから教えてもらい上手に書けた」など満足そうでした。



《第37回南商書道部校外展開催！！ ～帯広市民ギャラリー(1/9～14)にて》

毎年、1年の集大成のお披露目ということで校外展を行っています。先輩方から引き継ぎ37回目を数えます。今回は会期中の天候にも恵まれ、帯広市民ギャラリーでの開催としては、過去最多の576名の方々にご来場いただきました。ご高覧いただいた、皆様本当にありがとうございました。

